

東青梅老壮大学 8月講座

「発達障害とその理解と支援 2」

を実施しました



澤井 晴乃 先生
(NPO法人かけはし 代表)

令和4年8月19日（金）、青梅市福祉センターにおいて澤井 晴乃（さわい はるの）先生をお迎えして、発達障害について、お話しをしていただきました。

当日は、学長等を含め35名が参加しました。

発達期は、「胎児期、周産期、乳児期、児童期、思春期、青年期、壮年期（40歳から）、初老期（57歳から）、老年期（70歳から）、終末期」に分けられます。

また、発達障害は、ADHD（注意欠如・多動症）、ASD（自閉スペクトラム）、LD（学習症）等がありますが、この3つは、誰でもが持っている傾向だそうです。

澤井先生は、出来るだけ早い発達時期に周囲の人が気づくこと、特性を正しく理解すること、適切に支援することが大切であることを、分かりやすく、丁寧にお話しいただきました。

